



# TACT FESTIVAL 2020 タクト・フェスティバル 中止

TOKYO METROPOLITAN THEATRE 2020.5/1(Fri)~5/5(Tue)

\*新型コロナウイルス感染症対応のため全プログラムを中止いたします。チケットの払戻等の詳細は東京芸術劇場ホームページにてお知らせいたします。



撮影：北川姉妹



Itoh Kim



Morishita Maki



©bozzo

## PERFORMANCE & INSTALLATION

### 伊藤キム×森下真樹『マキム!』 カ石 咲『ニット・インベーター』 オンガクとカラダとニット? ミラクルワールドで遊ぼう!

今年で11回目を迎えるTACT FESTIVAL (タクト・フェスティバル)。TACTとは、Theater Arts for Children and Teensの略称。もちろんこのフェスティバルは、こどもだけでなく大人も十分に楽しめるもの。東京芸術劇場では、ホールのほかアトリウムやロワー広場などオープンスペースもフル活用、音楽、ダンス、アートをミックスした賑わいの演出が親しまれてきた。

さて今年のタクト・フェスティバルも遊び心いっぱいの強力企画が登場。まずは『マキム! カラダとコエとオンガクと』。マキムって何? 新しいサーカス団? その正体はダンサー・振付家の伊藤キムと森下真樹2人の合体ネーム。日本のダンスシーンの最前線で活躍する異才2人のコラボが満を持して実現する注目作だ。

今回の舞台は、それぞれ独自に「カラダ、コエ、オンガク」を追究してきた2人が出会い、表現の新たな化学反応を目論むというもの。「身体という楽器で言葉を演奏」する伊藤キムは、自ら主宰するフィジカルシアターカンパ

ニー GEROの代表作『Voice! Voice! Voice!』をベースにその方法論をブラッシュアップ。また「音楽を血や肉や魂に変える」という森下真樹は、自身のカンパニー森下スタンドと自信作『ベートーヴェン 交響曲第9番 全楽章を踊る』をアップデートして挑む。そしてカンパニー同士の総力戦は劇場からロワー広場にも飛び出していく。さらに期待されるのは伊藤キム×森下真樹の新たなデュオだ。2人の身体と声が何を奏でるのか、その反応過程から目が離せない!

いっぽうアート分野から参加する『ニット・インベーター』も要注目。編み物をコミュニケーションメディアと捉える美術家のカ石咲が、特殊な編み機を駆使して人とモノ、街の風景までもカラフルな毛糸で結びつけていく。

今年のタクト・フェスティバルはオンガクにカラダを乗せて、色とりどりのニットに絡んで、はてさてどんなミラクルワールドが展開するか。是非芸術で体験を!

文・立石和浩/TACT FESTIVAL2020 プロデューサー



©Keizo Kioku



Chikaraishi Saki

撮影：土田和彦

#### 1 伊藤キム×森下真樹 『マキム! カラダとコエと オンガクと』シアターバージョン

5月2日(土)▶5日(火)祝  
シアターイースト 詳細はP10へ

振付・演出・出演:伊藤キム、森下真樹  
出演:フィジカルシアターカンパニーGERO、森下スタンド

#### 2 カ石 咲 『ニット・インベーター in 東京芸術劇場』【無料】

5月1日(金)▶5日(火)祝  
公開展示:5月1日(金)▶5日(火)祝  
ワークショップ:5月3日(日)祝▶5日(火)祝  
ロワー広場、アトリエウエスト 詳細はHPへ

構成・造形・WS講師:カ石 咲

『マキム! カラダとコエとオンガクと』  
関連企画 芸術こどものアトリエ  
「かんげきのおみやげvol.2」  
5月3日(日)祝~5日(火)祝  
アトリエイースト 詳細はHPへ

## CONCERT

### 東京芸術劇場 presents 『鈴木優人&読響 ファミリーコンサート~きみと僕のハーモニー~』

### ハモるってなんだろう? からだが共鳴する1時間



©Marco Borggreve



©山中健治



#### ハーモニーの魅力に迫るコンサート

昨年“リズム”をテーマに好評を博した特別企画第2弾。今年のテーマは“ハーモニー”。リズム、メロディと共に音楽を作る3つの要素の一つであるハーモニーについて深く掘り下げ、オーケストラ音楽の魅力に迫る。指揮とお話は、国際的に幅広く活躍し、読響の指揮者/クリエイティブ・パートナーにも就任した鈴木優人。日本を代表するオーケストラ、読売日本交響楽団が演奏する。司会は、ミュージカル界を牽引する俳優として活躍し、テレビでもおなじみの石丸幹二。旬な二人による軽妙なトークが

楽しめそうだ。

人気の映画『スター・ウォーズ』の有名な「メイン・タイトル」で力強く開幕。ドイツ・ロマン派のメンデルスゾーンの名曲「結婚行進曲」や、ハーモニーに革命をもたらしたワーグナーの楽劇『トリスタンとイゾルデ』前奏曲などを演奏。さらに、20世紀の作曲家がハーモニーを追い求めた果てに、どんな音楽になったのかを、ウェーベルン作品を通じて明らかにする。新たなハーモニーの感覚が呼び覚まされるだろう。

#### 石丸幹二が歌う「エーデルワイス」

司会の石丸幹二が歌う「エーデルワイス」に

も注目だ。ロジャース作曲、ハマースタイン作詞によるミュージカル『サウンド・オブ・ミュージック』は、後に映画化もされて一世を風靡した。数々の名曲が含まれているが、「ドレミの歌」と並び「エーデルワイス」は、親しみやすいメロディとハーモニーを持ち、今も世界中で愛されている。石丸の温かな美声と繊細な表現をご堪能いただきたい。

最後に演奏されるのはエルガー作曲の行進曲「威風堂々」第1番。テレビや映画でも使われることが多く、誰もが一度は耳にしたことがある傑作。希望が湧きたつようなメロディとハーモニーは、どのように作られたのか解き明かされる。最後は、オーケストラの華麗で迫力あふれるサウンドを、全身で受け止めていただきたい。指揮者の鈴木は「ふだんクラシックに馴染みがない人にも、ライブならではの体験を楽しんでいただけたら」と抱負を語る。

5月5日(火)祝 15:00開演  
コンサートホール 詳細はP09へ

指揮・お話:鈴木優人 司会・歌:石丸幹二  
管弦楽:読売日本交響楽団



©読響

## OTHERS

フィジカルシアター  
カンパニーGERO×  
森下スタンド『マキム!』  
フィールドバージョン【無料】  
5月3日(日)祝~5日(火)祝  
ロワー広場  
詳細はHPへ



街角LIVE!【無料】  
5月1日(金)~5日(火)祝  
東京芸術劇場アトリウム、  
東武東上線  
池袋駅南改札口前、  
池袋西口公園野外劇場  
詳細はHPへ



TACT CAFÉ  
5月2日(土)~5日(火)祝  
池袋西口公園  
野外劇場  
詳細はHPへ